

千歳市長コメント【4月30日(木)】

市立千歳市民病院職員の新型コロナウイルス感染及び 今後の診療体制について

【山口市長】

本日、市立千歳市民病院において「2名」が、新型コロナウイルスに感染したことが判明いたしました。このうち「1名」は看護師であります。

陽性判明後は、千歳保健所の指導に基づき、「2名」の感染経路や濃厚接触者などの調査を進めているところであります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、国や北海道などと連携を図り、市内における感染拡大の防止に向けた取組を行っているところでありますが、このたび、当院の職員が新型コロナウイルス感染症に罹患したことは、大変、憂慮すべき事態であります。

患者様、患者様のご家族の皆様並びに関係する皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを心からお詫び申し上げますとともに、関係機関の協力を得ながら、一日も早い収束に向け、感染拡大の防止に努めてまいります。

市民の皆さまに対し、改めて、私からお願いを申し上げます。

道内はもとより千歳市では、国の緊急事態宣言後も感染の拡大が続き、現在、重大な局面を迎えており、まさに今、各人の行動自粛を徹底しなければ、医療崩壊が起き、市民の皆さまにとって必要な医療が受けられなくなってしまいます。

医療の崩壊を避けるため、医療従事者の方々は、新型コロナウイルス感染症患者の治療にあたり、多大なリスクを負いながら医療の最前線で、日夜、懸命に闘っております。

このような状況を、市民の皆さま一人ひとりに理解していただき、この「ゴールデンウィーク」期間中は、食料や生活必需品の買い出しなど、生活の維持に必要な場合を除き、外出を控えるとともに、札幌市や他都府県などへの不要不急の往来を控えるよう、是非・是非お願いいたします。

また、集団感染の発生リスクが高い、換気の悪い「密閉空間」、多数が集まる「密集場所」、間近で会話や発声をする「密接場面」の3つの条件が同時に重なる場を避けるとともに、外出自粛の影響で、スーパーが混雑している状況も見受けられますことから、買い出しは最小限の回数に留め、最小限の人数、そして短時間で終わるよう、ご協力をお願いいたします。

再度申し上げますが、この「ゴールデンウィーク」期間中は、「市民の皆さまは家にいる。」「札幌には行かない。」「他の都府県には行かない。」ことを遵守願います。

市民の皆さまには、ご不便・ご負担をおかけする状況が続きますが、この難局を千歳市民一丸となって乗り越えるための協力を、市長として強くお願いいたします。

今後の市民病院の診療体制等につきましては、市民病院事務局長からご説明いたします。

【山田事務局長】

市民病院では、新型コロナウイルス感染症への対応につきましては、細心の注意を払ってきたところでありますが、このような結果となりましたことを、心よりお詫び申し上げます。

当院といたしましては、更なる感染拡大の防止のため、次のような対応を行ってまいります。

はじめに、5月1日（金）～5月12日（火）までの間ではありますが、

外来患者の新患受付を休止いたします。

また、新たな入院患者の受け入れを休止いたします。

また、一部の診療科を除き、救急患者の受け入れを休止いたします。

次に、5月7日(木)から5月12日(火)までの間ではありますが、健康診断の受け入れを休止いたします。

なお、予約等のある再来患者は引き続き診療を行います。

これらの対応につきましては、今後の感染状況により、休止する日程が変更となる場合があります。

市民の皆様には、多大なご迷惑をおかけすることとなりますが、未だ感染拡大の可能性のあることから、皆様の安全を確保するための措置であります。

市民病院では、関係機関の協力を得ながら、1日も早い収束に向け職員一丸となって取り組んでまいりますので、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。